

インターバンクの声（2017 年 8 月 24 日）

トランプ米大統領の過激な発言には免疫が出来ていたつものの市場だったが、昨日「メキシコ国境沿いに壁を建設するための予算を確保できなければ、政府機関閉鎖も辞さない」と述べたことが伝わると、呆れてしまうと同時にさすがに無視するわけにもいかなかった。

24 日からの米ジャクソンホールでの経済シンポジウムを控え、これだけ材料が少ないとあっては、109 円台半ばの水準を維持して金融政策についてのイエレン FRB 議長やドラギ ECB 総裁の発言待ちかと思われたが、そのシナリオはトランプ発言で壊れてしまった。

政府機関閉鎖も辞さないとの発言は大統領のいつもブラフだとは思うが、用心深い投資家にとってはリスク回避に動かざるを得ず、円買い・ドル売りが進んでしまった。ジャクソンホールでイエレン議長が明確に追加利上げに慎重な姿勢を示すようであれば、今年 4 月に付けたドル安値である 108 円台前半の更新に動くかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。